

平成 19 年度枝肉成績とりまとめ概要

(肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業 全国肉用牛枝肉情報収集・分析・提供対策事業)

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日の期間にと畜され、平成 20 年 6 月 17 日までに本事業で収集された黒毛和種枝肉情報は 123,728 件で、平成 18 年度の 107,504 頭より 16,224 頭増加した。(社)日本食肉格付協会により平成 19 年度に格付された和牛(黒毛和種、褐毛和種、無角和種等) 405283.5 頭(去勢: 238,629.0 頭 雌: 166654.5 頭)の 30.5%を占めていた(同協会インターネット <http://www.jmga.or.jp/> 平成 20 年 5 月 21 日更新より)。

表 1 では、去勢、雌牛別の各形質の平均を年度別に示し、図 1 で、形質ごとに年度別の平均値をグラフに示した。去勢は全体頭数の 63.1%(対前年+0.2%)を占めている。日齢枝肉重量及び枝肉重量については去勢、雌ともに年々増加している。ロース芯面積については、去勢で年々増加し、雌は、平成 16、17 年度にかけて減少傾向だったが、平成 18、19 年度と増加している。ばらの厚さでは、去勢、雌ともに昨年度よりも増加した。皮下脂肪厚は去勢では平成 17 年度までは緩やかに減少傾向であったが、平成 18、19 年度と増加した。歩留基準値は去勢において前年は減少したが、今年度は若干増加し、雌は平成 16 年度から減少している。また BMS(No)では、去勢、雌ともに前年度より増加した。

表 1 枝肉形質平均 ± SD

形質名	性別	14 年度		15 年度		16 年度	
		頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均
日齢枝肉重量 (kg/day)	去勢	63,407	0.487	65,747	0.490	50,786	0.492
	雌	34,649	0.418	33,256	0.423	24,611	0.414
枝肉重量 (kg)	去勢	63,407	437.5	65,747	436.2	50,786	437.8
	雌	34,649	383.7	33,256	382.6	24,611	382.8
ロース芯面積 (cm ²)	去勢	63,386	52.6	65,716	52.9	50,742	53.0
	雌	34,624	51.2	33,238	51.5	24,529	50.8
ばらの厚さ (cm)	去勢	63,386	7.45	65,716	7.42	50,742	7.46
	雌	34,624	7.16	33,238	7.09	24,529	7.08
皮下脂肪厚 (cm)	去勢	63,386	2.38	65,716	2.39	50,740	2.30
	雌	34,624	2.76	33,237	2.67	24,529	2.61
歩留基準値	去勢	63,386	73.61	65,716	73.64	50,742	73.73
	雌	34,624	73.57	33,238	73.64	24,529	73.60
BMS (No)	去勢	63,386	5.27	65,716	5.19	50,742	5.37
	雌	34,624	5.17	33,238	4.97	24,529	5.08
BCS (No)	去勢	63,386	3.85	65,716	3.79	50,742	3.80
	雌	34,624	4.05	33,238	4.00	24,529	4.00
しまり	去勢	63,386	3.69	65,716	3.68	50,742	3.71
	雌	34,624	3.60	33,238	3.54	24,529	3.53
きめ	去勢	63,386	3.87	65,716	3.86	50,742	3.91
	雌	34,624	3.78	33,238	3.72	24,529	3.74

表1 枝肉形質平均±SD(つづき)

形質名	性別	17年度		18年度		19年度			
		頭数	平均	頭数	平均	頭数	平均	±	S D
日齢枝肉重量 (kg/day)	去勢	56,514	0.499	66,744	0.506	78,082	0.517	±	0.070
	雌	29,325	0.417	40,760	0.429	45,646	0.442	±	0.087
枝肉重量 (kg)	去勢	56,514	443.4	66,744	451.5	78,082	461.2	±	59.1
	雌	29,325	386.9	40,760	394.3	45,646	404.9	±	53.6
ロース芯面積 (cm ²)	去勢	56,466	53.2	66,671	53.3	78,016	54.2	±	8.3
	雌	29,225	50.7	40,650	51.1	45,509	52.2	±	8.7
ばらの厚さ (cm)	去勢	56,466	7.53	66,671	7.51	78,016	7.58	±	1.00
	雌	29,225	7.11	40,650	7.11	45,509	7.22	±	0.97
皮下脂肪厚 (cm)	去勢	56,466	2.31	66,671	2.34	78,016	2.37	±	0.72
	雌	29,225	2.60	40,650	2.63	45,509	2.74	±	0.81
歩留基準値	去勢	56,466	73.72	66,671	73.60	78,016	73.62	±	1.34
	雌	29,225	73.56	40,650	73.49	45,509	73.48	±	1.46
BMS (No)	去勢	56,466	5.47	66,671	5.39	78,016	5.43	±	2.07
	雌	29,225	5.02	40,650	4.96	45,509	5.08	±	2.07
BCS (No)	去勢	56,466	3.77	66,671	3.79	78,016	3.79	±	0.56
	雌	29,225	3.99	40,650	4.01	45,509	3.99	±	0.60
しまり	去勢	56,466	3.73	66,671	3.69	78,016	3.71	±	0.91
	雌	29,225	3.48	40,650	3.49	45,509	3.53	±	0.97
きめ	去勢	56,466	3.94	66,671	3.92	78,016	3.92	±	0.80
	雌	29,225	3.71	40,650	3.71	45,509	3.75	±	0.85

図1 各形質の年度別平均

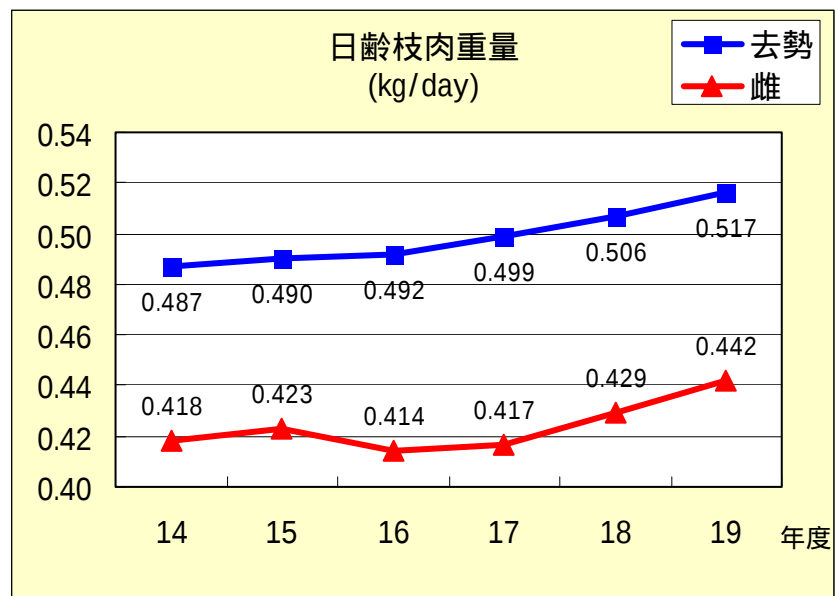


図1 各形質の年度別平均(つづき)

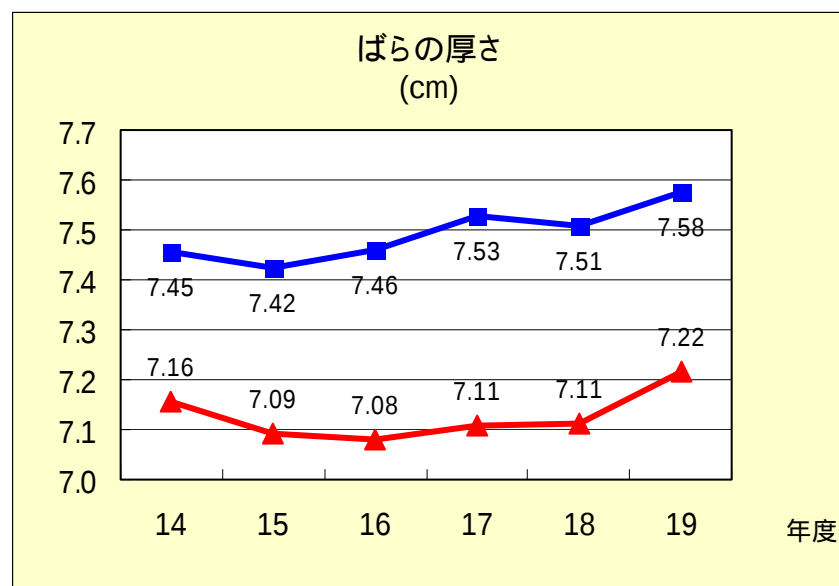
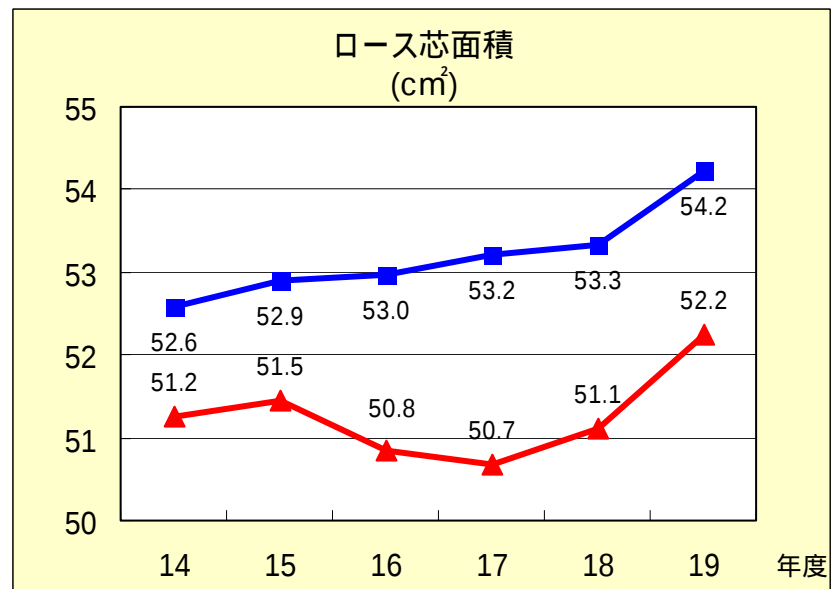
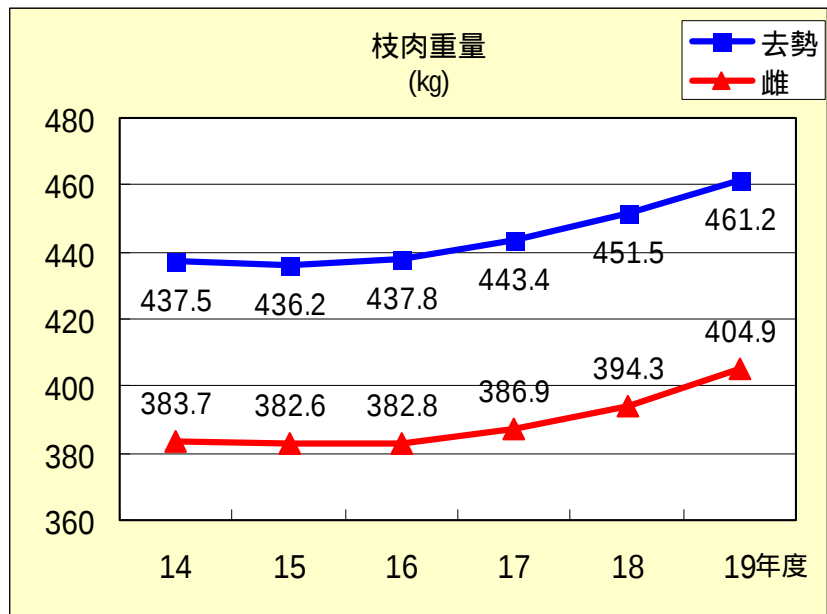


図1 各形質の年度別平均(つづき)

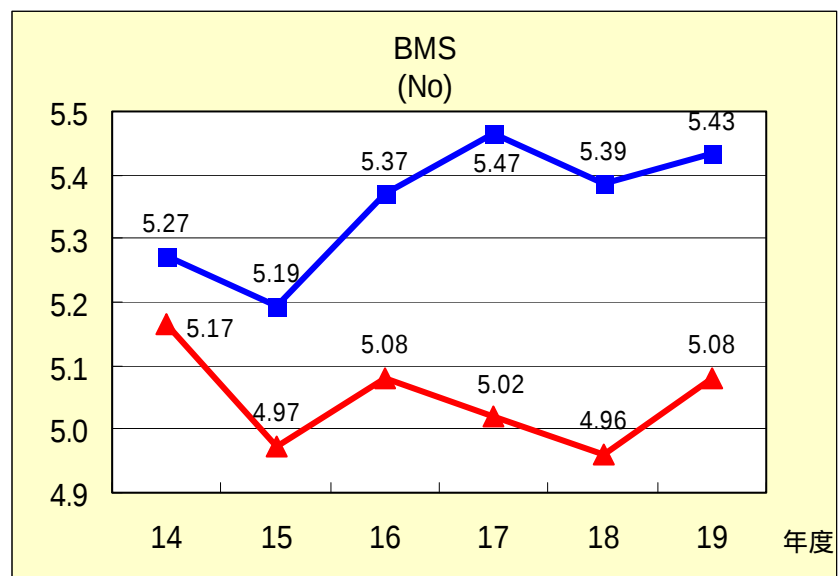
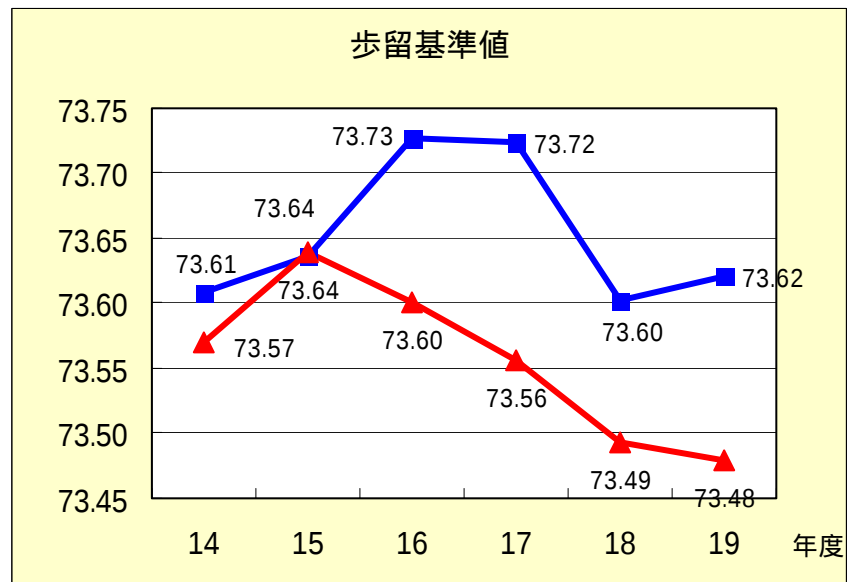
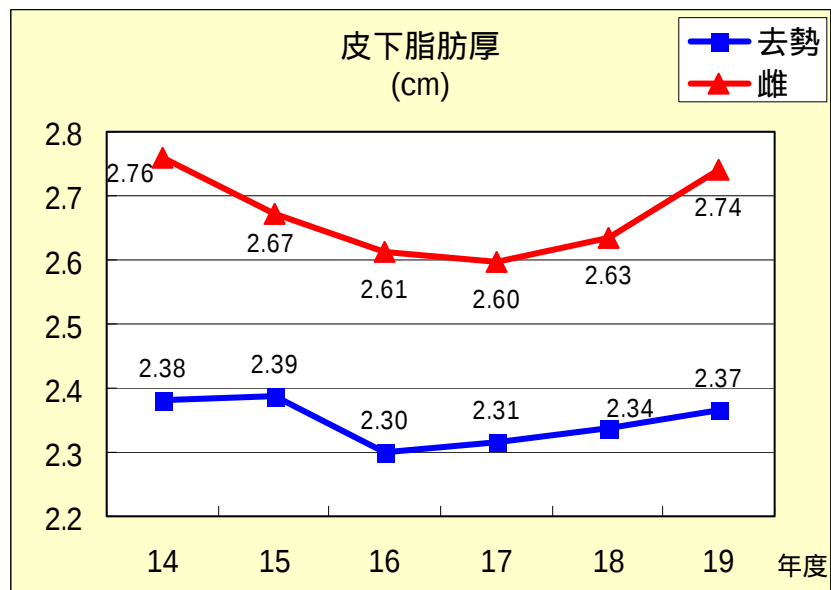
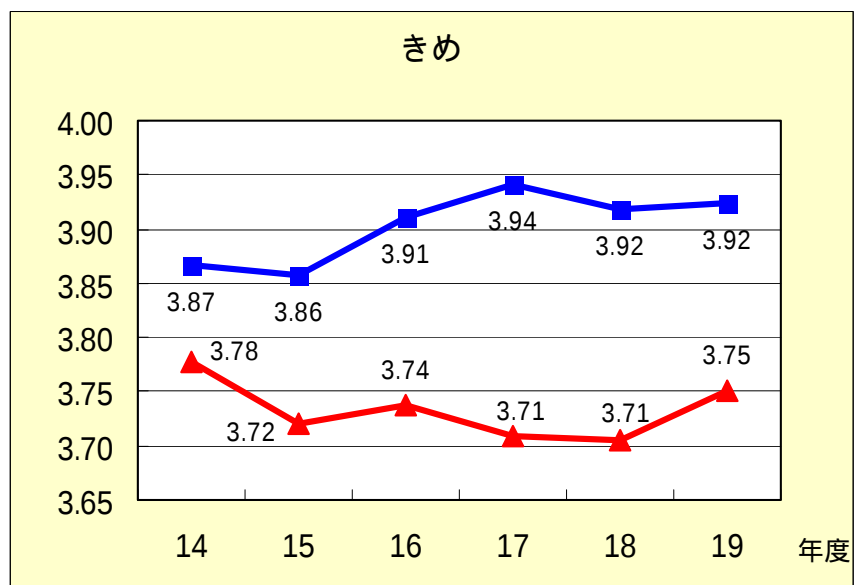
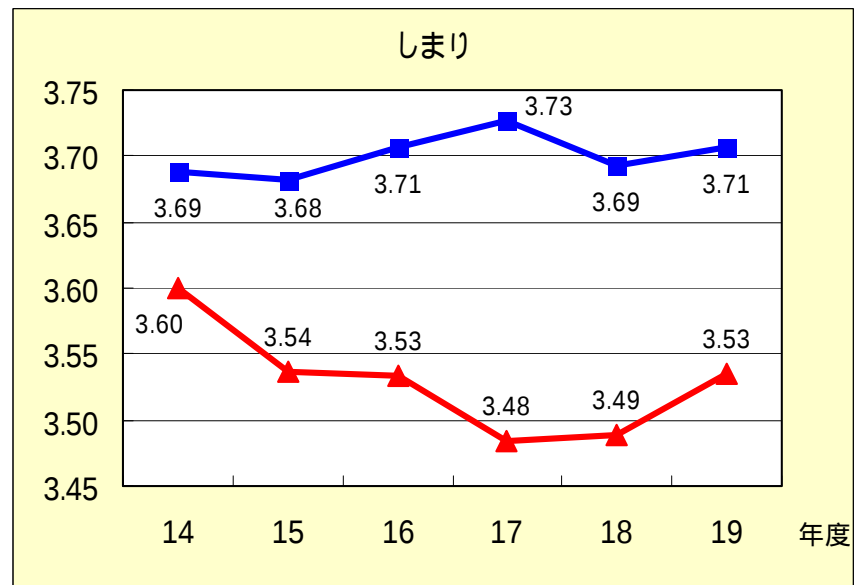
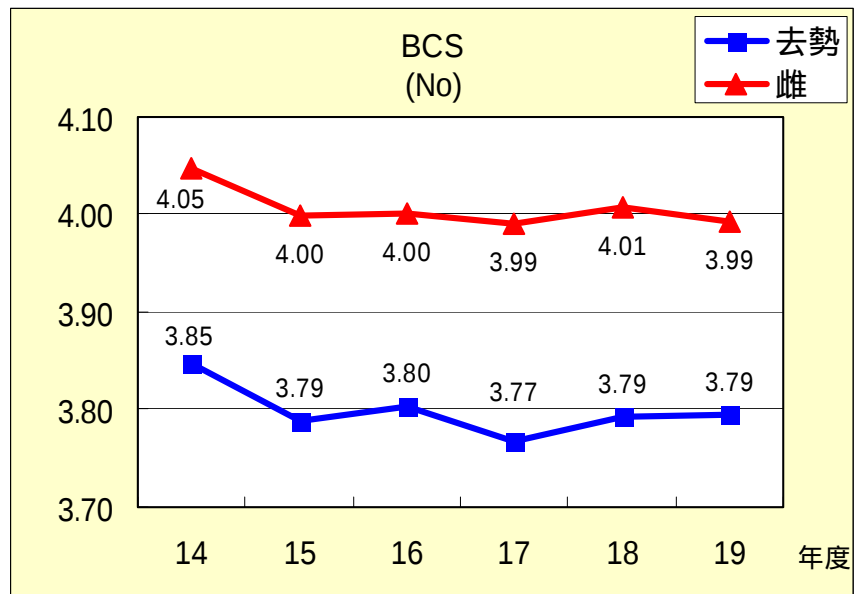
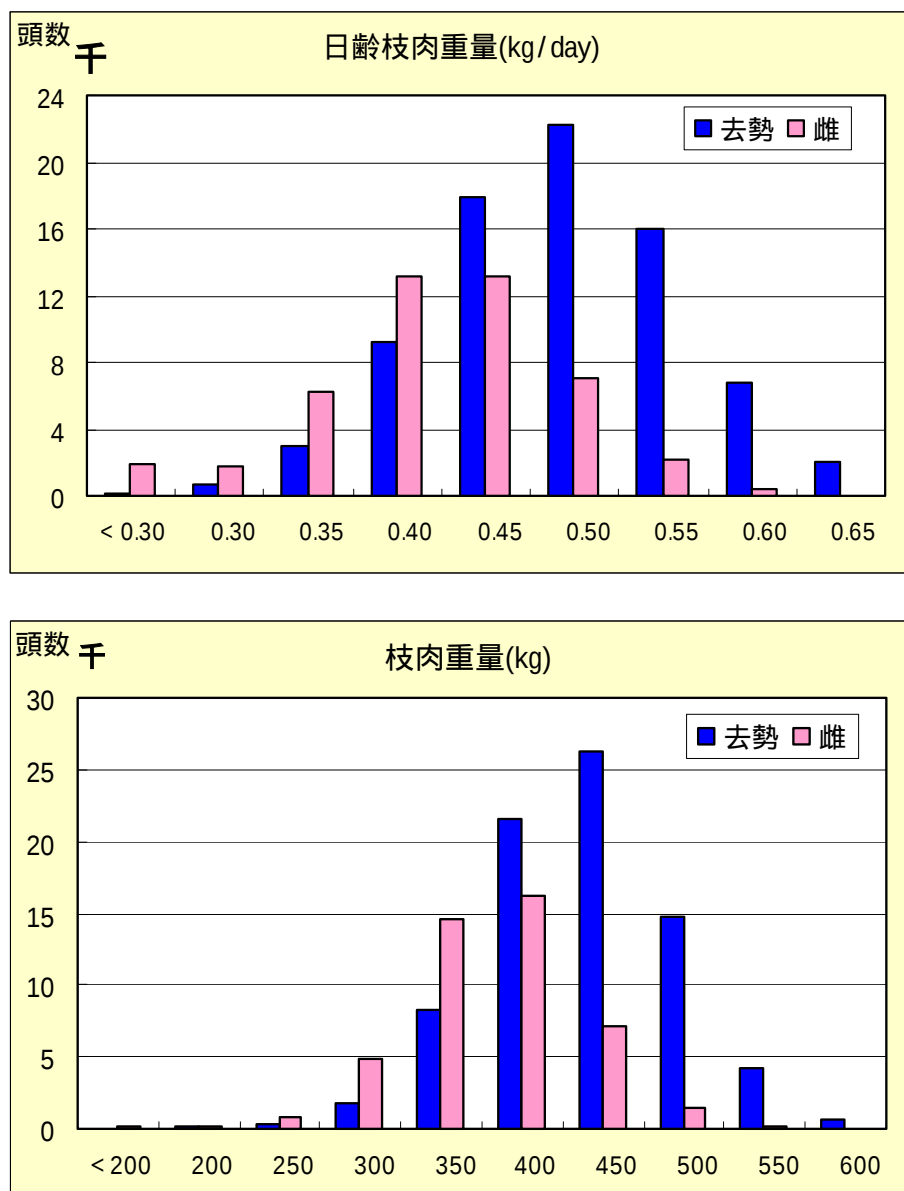


図1 各形質の年度別平均(つづき)



各形質の平成19年度の度数分布を図2に示した。日齢枝肉重量は、去勢で0.50～0.55kg/dayが22,274頭と去勢全体の28.5%(対前年+0.2%)を占め、雌では0.40～0.45kg/dayが13,100頭と、雌全体の28.7%(対前年-2.0%)を占めていた。枝肉重量について、去勢で最も多く分布していたのは、450～500kgの26,302頭と去勢全体の33.7%(対前年+1.6%)、雌は400～450kgの16,258頭と雌全体の35.6%(対前年+3.2%)であった。

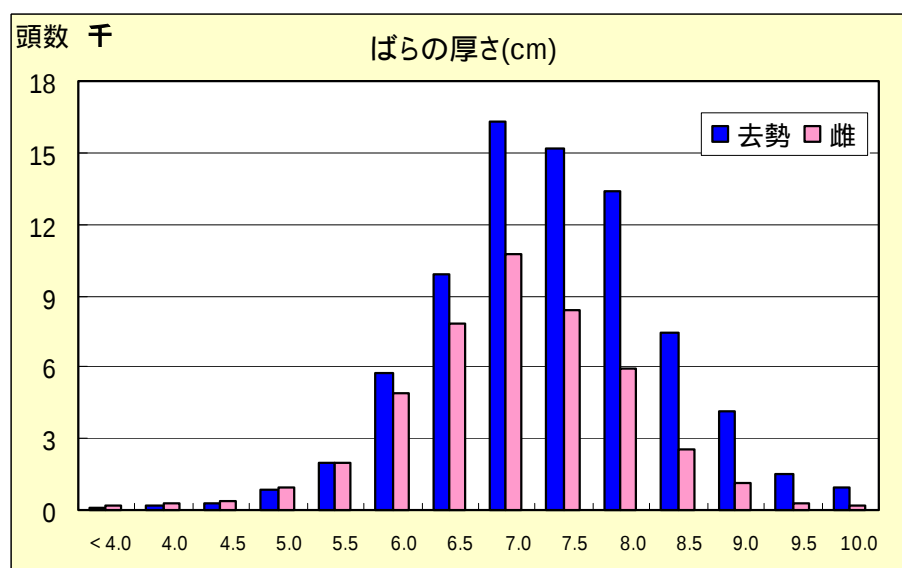
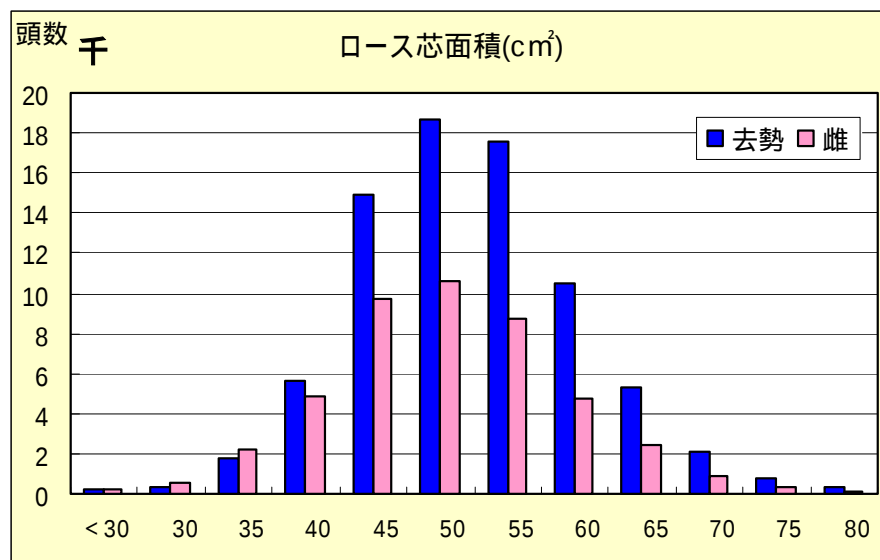
図2 各形質の度数分布



ロース芯面積については、去勢、雌ともに50～55cm²の階層が最も多く、去勢は18,625頭と去勢全体の23.9%(対前年-0.6%)を占め、雌は10,624頭で雌全体の23.3%(対前年+0.6%)だった。ばらの厚さについては、去勢において7.0～7.5cmの階層が16,329頭と去勢全体の

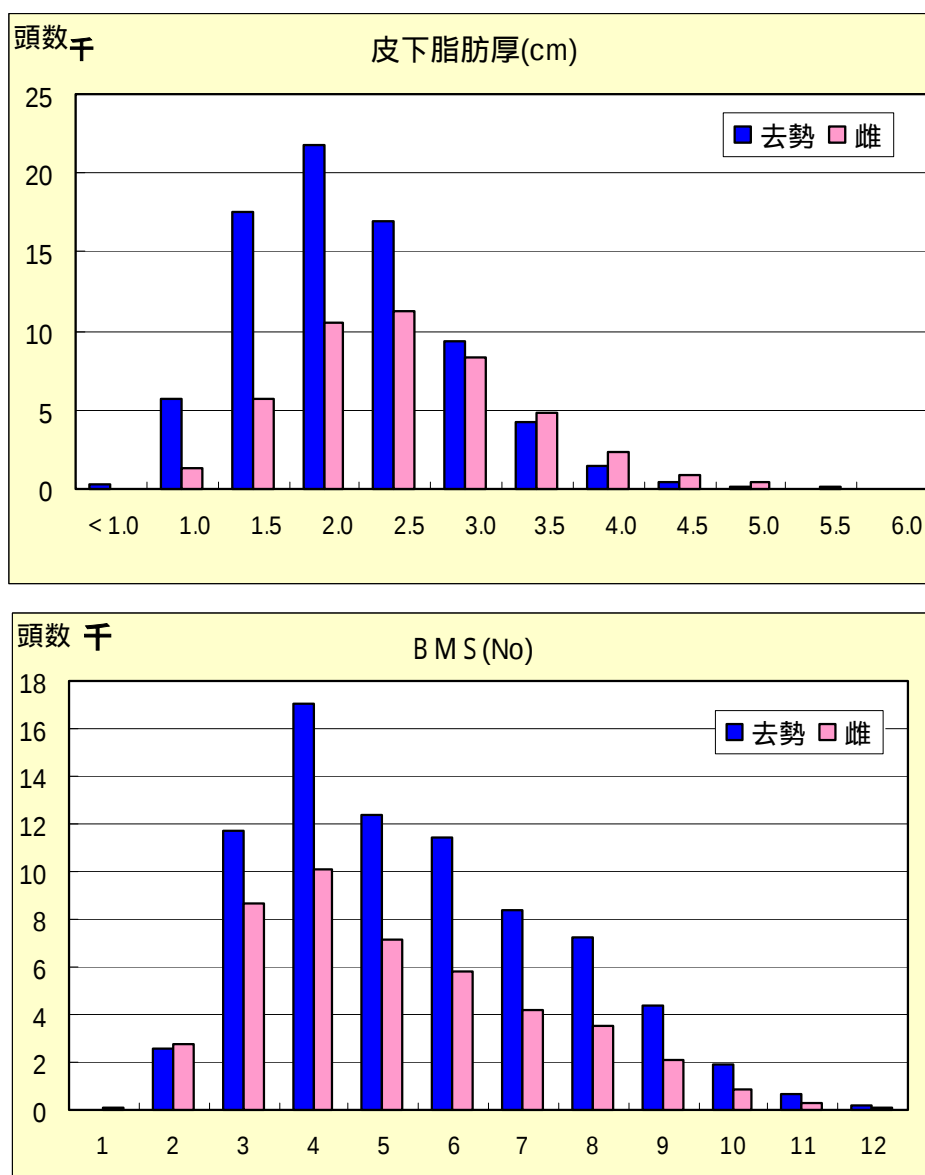
20.9%(対前年+0.1%)と多く、次いで 7.5～8.0cm の 15,206 頭となり、去勢全体の 19.5%(対前年+1.2%)だった。雌では、去勢と同様に 7.0～7.5cm の階層が 10,768 頭で 23.7%(対前年+0.8%)と最も多く、次いで、7.5～8.0cm の 8,381 頭となり 18.4%(対前年(+1.6%)であった。

図2 各形質の度数分布(つづき)



皮下脂肪の厚さについて、去勢では 2.0～2.5cm の階層が、雌は、2.5～3cm の階層が最も多く、去勢で 21,826 頭の 28.0%(対前年-0.3%)、雌では 11,195 頭で 24.6%(対前年+0.8%)だった。BMSにおいては去勢、雌ともに 4 が最多で、去勢 17,082 頭の 21.9%(対前年-1.4%)、雌 10,063 頭の 22.1%(対前年-0.6%)だった。BMSの等級区分は 8 以上が等級 5 となるが、去勢で 8 以上は去勢全体の 18.4%と、前年度の 17.6%より 0.8%増加し、雌は雌全体の 15.0%と、前年度の 13.3%よりも 1.7%増加した。

図2 各形質の度数分布(つづき)



国では、肥育期間の短縮を図り、生産性を向上させるために、表2のとおり目標値を掲げているところである。また、図3に、と畜月齢別の各形質の平均を示した。と畜月齢の平均は、去勢で29.5ヵ月齢、雌で32.9ヵ月齢であった。日齢枝肉重量については、去勢で27、雌で26ヵ月齢をピークに、月齢が進むほどに減少した。また枝肉重量、ばらの厚さでは、去勢は30ヵ月齢をピークに32ヵ月齢まで若干減少したが、33、34ヵ月齢にかけて若干増加した。雌は30ヵ月齢をピークに停滞している。ロース芯面積では、去勢で月齢が進むほど高くなっているが、雌牛は33ヵ月齢をピークに減少した。歩留基準値では、去勢については、月齢が進むほど高くなっているが、雌は33ヵ月齢から減少した。BMSでは月齢に伴い向上するが、33ヵ月齢付近で停滞や減少傾向にある。

表 2 黒毛和種去勢肥育牛の能力に関する目標数値

	肥育開始時		肥育終了時		枝肉重量	1日平均増体量	(参考) 肉質等級
	月齢	体重	月齢	体重			
	か月	kg	か月	kg	kg	kg	
現 在	9.5	290	30	695	440	0.65	3.5
目 標 (27年度)	8.0	240	24	675	430	0.90	3-4

注：1) 目標数値は、肥育期間短縮を目指したものである。

2) 「(参考)肉質等級」は、肉質の維持又は向上を目指しつつ、効率的な肥育を図るための目安である。平成17年3月 家畜改良増殖目標より

図3 と畜月齢別分布

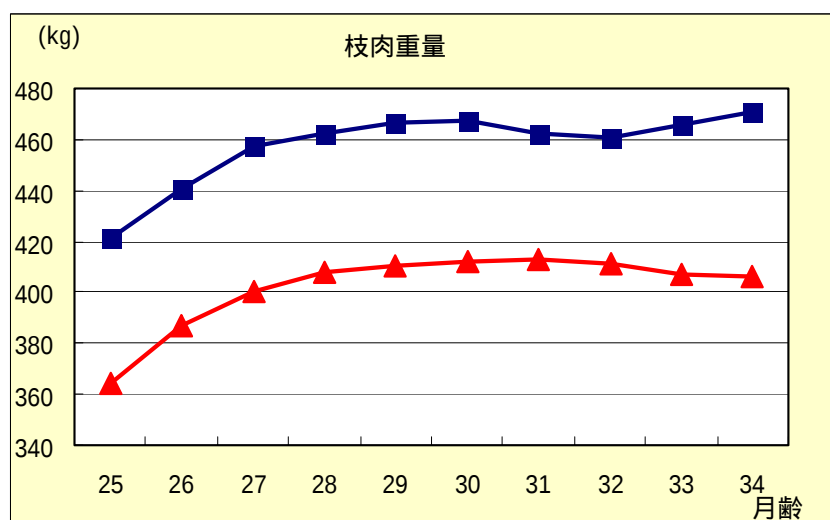
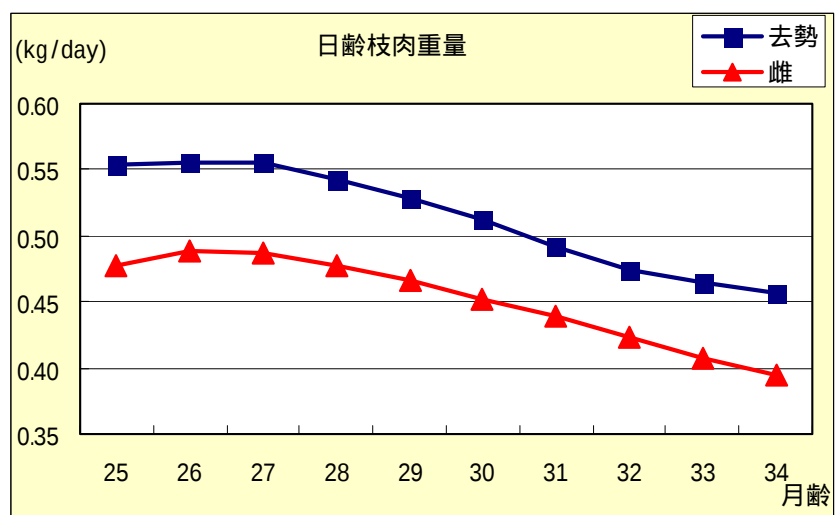


図3 と畜月齢別分布(つづき)

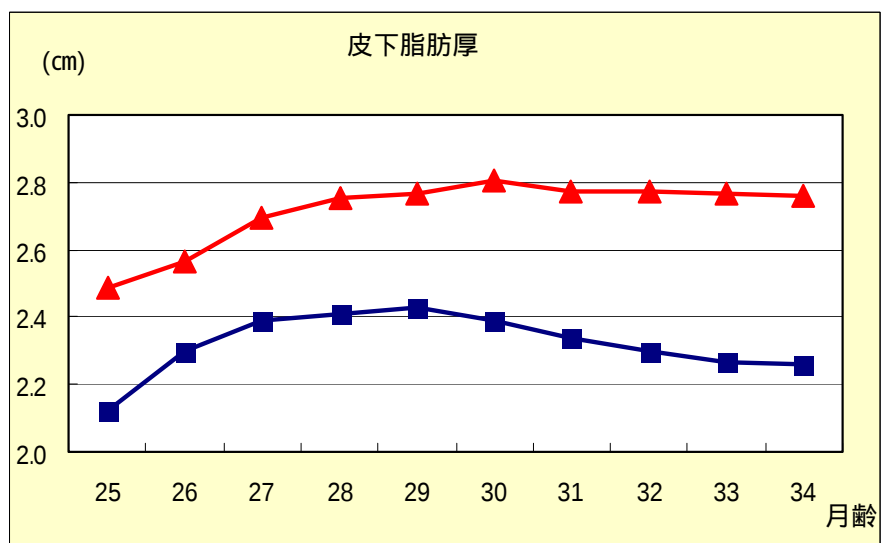
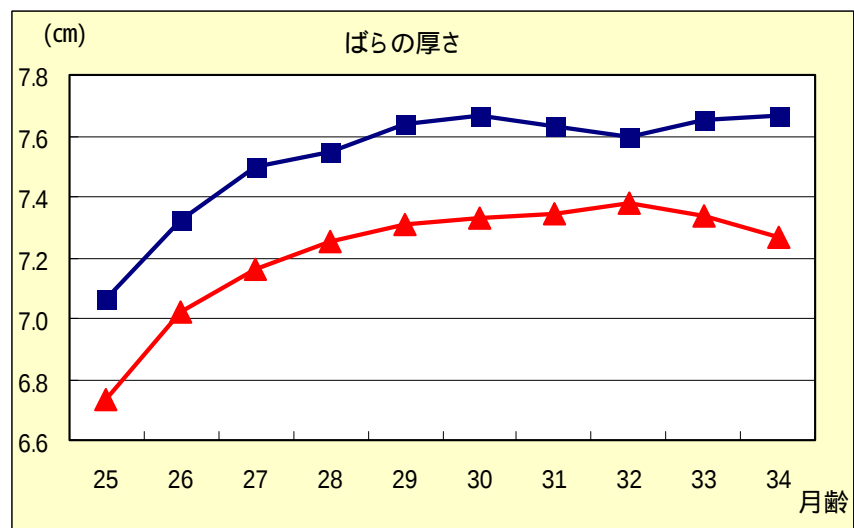
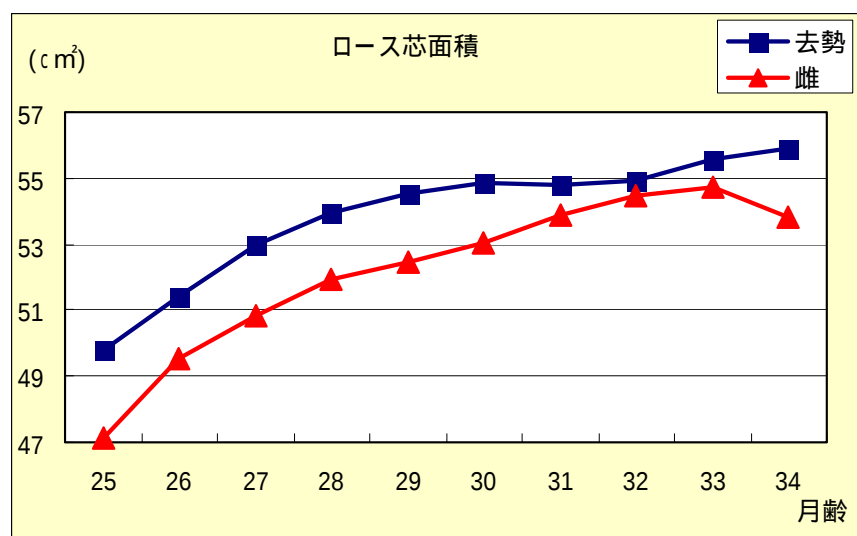
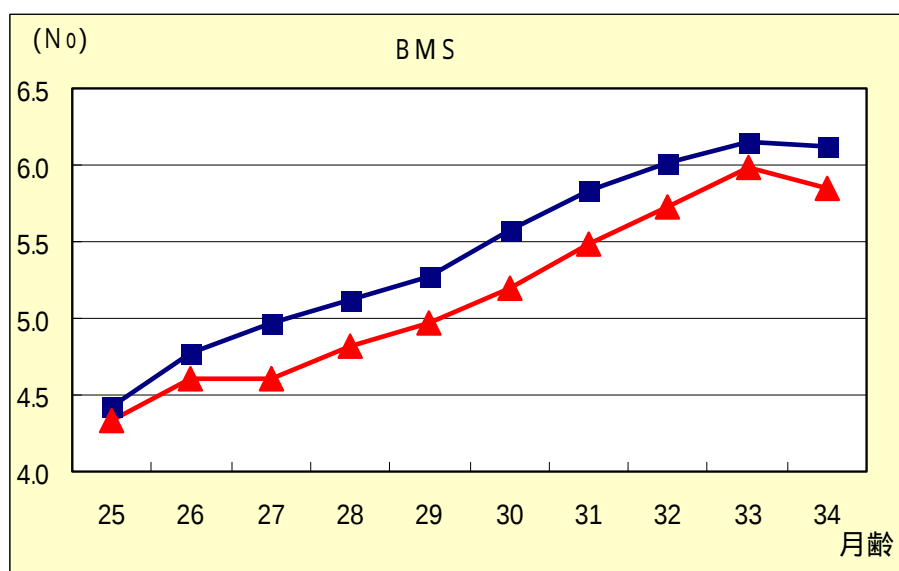
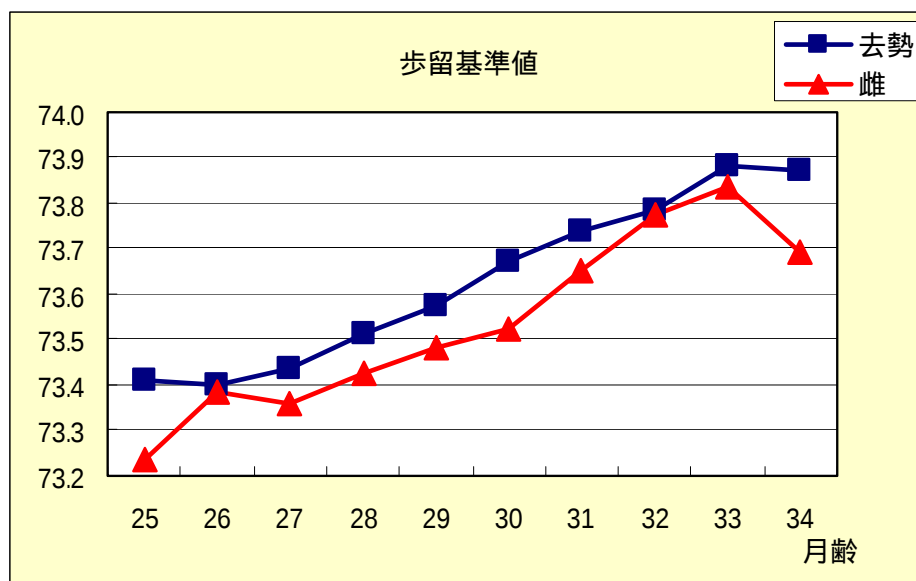


図3 と畜月齢別分布(つづき)



《参考》枝 肉 成 績 ま と め の 見 方

1) とりまとめの条件について

- ・平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日の期間にと畜され、平成 20 年 6 月 17 日までに本事業で収集された黒毛和種の枝肉情報を集計しています。
- ・各調査成績は生年月日、血統情報等個体が明らかなものについて集計しています。
- ・一部不明なデータは集計から除外したため、項目により集計件数に差があります。

2) 語句について

- ・各調査成績中の平均は、各個体で報告のあった成績の合計をその個体数で割ったものです。また、 $\pm S D$ は標準偏差を示しており、この値が大きいほど個々の成績にバラツキが大きいことを示しています。

3) とりまとめ項目について

○ 提供形質について

日齢枝肉重量(kg/day)、枝肉重量(kg)、ロース芯面積(cm^2)、バラの厚さ(cm)、皮下脂肪厚(cm)、歩留基準値、BMS(No)、BCS(No)、しまり、きめの10項目です。

注) 日齢枝肉重量：枝肉重量をと畜日齢(と畜日から生年月日を引いた日数)で割った値

BMS：牛脂肪交雑基準

BCS：牛肉色基準

○ 枝肉形質別平均 $\pm S D$ (去勢・雌)

年度全体平均

年度別の各枝肉成績の頭数、平均と標準偏差をそれぞれ示しています。